「女・男　ともに輝く情報誌」

ウィルプラス

WILL PLUS

No.68　2010　　編集・発行　財団法人あいち男女共同参画財団

特集　あいち国際女性映画祭 2010

◆参画トピックス

・豊明市　男女共同参画イラスト・漫画を募集しています！

・大口町　デートDVの予防に！冊子とDVDを活用

◆団体紹介

『ウィルあいち交流ネット』活動が続く秘訣は楽しさ

～ウィルあいちを拠点に～

◆相談コーナーから

母と娘の関係

◆情報ライブラリーから

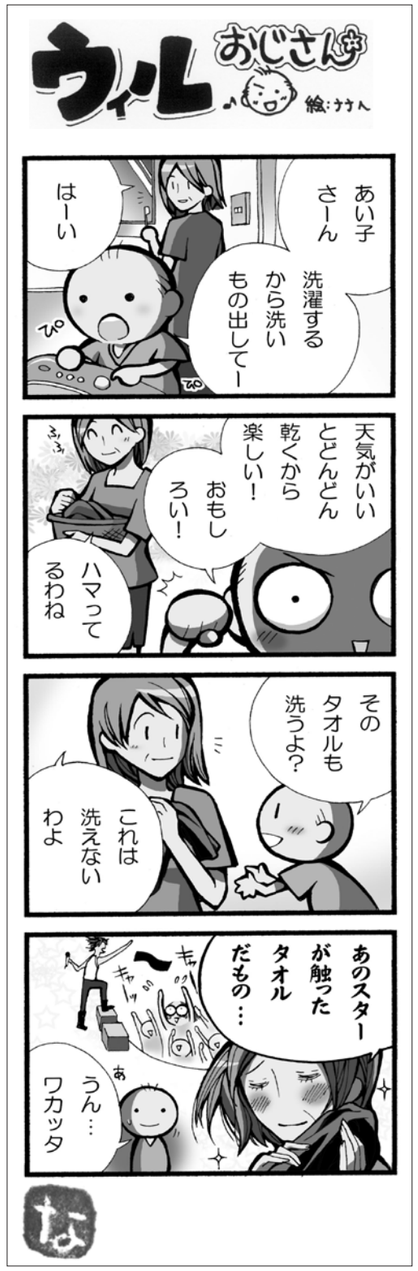
・図書の紹介

～自分の気持ちを上手に伝えるには～

・「情報ライブラリーフェスタ」を開催しました

◆男女共同参画まんが　ウィルおじさん

「ウィルあいちニュース」は「ウィルプラス」に改称しました。
性別や年齢の枠を超えてすべての人がイキイキと生きるために…
あなたに今まで以上にプラスとなる情報をお届けします。



編集後記

○今回の「ウィルプラス」はいかがでしたか？あなたのご意見ご感想を（財）あいち男女共同参画財団総務情報課までお寄せください。

○「ウィルプラス」は、県内の図書館や女性センター等で配布しています。ホームページからもご覧いただけます。また、定期読者も募集しています。詳しくは電話でお問い合わせください。

ウィルプラス No.68 2010

編集・発行	財団法人あいち男女共同参画財団
住　所	〒461−0016　名古屋市東区上竪杉町1番地（愛知県女性総合センター内）
電　話	052−962−2505（代表）
F A X	052−962−2477
発　行	平成22年8月（年4回／次号発行予定：10月）

愛知県女性総合センター（ウィルあいち）のご案内

開館時間

9:00～21:00

●情報ライブラリー
9:00～19:00（日曜9:00～17:00）

●相談コーナー
受付時間9:00～12:00　12:45～16:30
（土・日曜は16:00まで）

休館日

毎週月曜日（祝日の場合は翌日も休館）
国民の祝日（土・日に当たるときは開館）
年末年始（12月29日～1月3日）

＊ただし、電話による施設予約は休館日の9:00～17:00も受け付けます。（年末年始を除く）
＊宿泊施設は、年末年始以外はすべてご利用いただけます。
＊情報ライブラリーは、毎月第3火曜日（祝日の場合は翌日も休館）も休館します。

所在地・お問い合わせ先

〒461−0016　名古屋市東区上竪杉町1番地
http://www.will.pref.aichi.jp/
●情報ライブラリー　電話 052-962-2510
●相談コーナー　電話 052-962-2614
●施設利用受付（ホール・会議室・宿泊室）　指定管理者　コングレ・愛知グループ　電話 052-962-2511

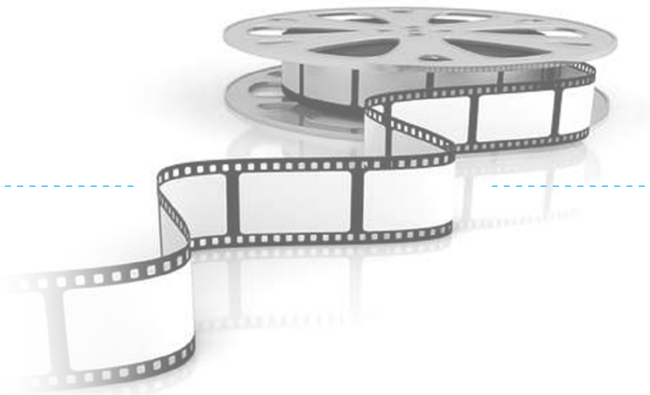
交通のご案内

○地下鉄名城線「市役所」駅2番出口東へ徒歩約10分
○名鉄瀬戸線「東大手」駅南へ徒歩約8分
○基幹バス、名鉄バス「市役所」下車東へ徒歩約10分
○市バス幹名駅1「市政資料館南」下車北へ徒歩約5分
○駐車台数に限りがありますので公共交通機関の利用にご協力ください。（駐車場有料）

特集

あいち国際女性映画祭2010

9月8日(水)▶12日(日)



今年で15回目を迎えるこの映画祭は、男女共同参画社会の実現に向けて、女性の生き方や女性と男性の相互理解などさまざまなテーマの作品を上映し、皆さんの心に直接訴えかけるとともに、ゲストトークなどを通じて社会のあり方について考えていただくことをねらいとしています。

この特集では、今年の映画祭の見どころをお伝えします。

‖ 世界の女性監督の秀作と出会うチャンス! ‖

今年もディレクターが世界の映画祭で選んだ充実のラインナップです。特に日本初公開作品は、この映画祭で上映するために日本語字幕を作成した注目の作品です。

また、女性監督の作品発表の場としての役割も定着してきました。日本人女性で初めてカンヌ映画祭でグランプリを受賞した河瀬直美監督のデビュー作もこの映画祭で上映しています。新進女性監督の新作をいち早くチェックできることも映画祭の魅力です!

愛と葛藤の社会派サスペンス

『坡州(パジュ)』

日本初公開　監督来場予定
韓国/2009年/110分　監督:パク・チャノク

坡州(パジュ)市は、板門店のある軍事境界線(38度線)を隔てて北朝鮮と接する最前線に位置し、非武装地帯がある唯一の市。深い霧でも有名な同地を舞台とした。

かつての反政府活動や妻の事故死が、ジュンシク(イ・ソンギュン)の生活に大きな影を落とす中で、現在と過去を往復しながら、霧に包まれたかのようにストーリーが展開する。義理の妹ウンモ(ソウ)の成長を軸に二人の心は複雑に絡み合ってゆく。

若手女優のソウは、2008年の「ミスにんじん」の娘役で数々の賞を受賞した後、本作品によって一段と躍進が期待される。

また、ドラマ「白い巨塔」、「コーヒープリンス1号店」(いずれ

も2007年放送)で人気俳優としての地位を確立したイ・ソンギュンは、罪悪感と責任感に苛まれるジュンシク役を見事に演じきった。

※2009釜山国際映画祭アジア映画振興機構賞(NETPAC賞)

ちょっぴりせつないハートフルコメディ

『プリンセス マヤ』

日本初公開　監督来場予定
スウェーデン/2009年/91分　監督:テレサ・ファビク

スウェーデンの田舎町に住む18歳のマヤの夢は、女優になること。ステージ中央で喝采を浴びたいと思うが、太り過ぎのマヤにとって現実は厳しかった。高校最後の年、ドキュメンタリー監督のエリカと出会い、自分のドキュメンタリーを撮ってもらうことに。ワンシーンだが、テレビのコメディドラマの出演依頼を受け、エリカとあこがれの同級生アレックスとストックホルムに向

かう。マヤは夢を叶えられるのか。

現実に涙しても、なお前を向く主人公の姿がちょっと悲しくてコミカルで、さわやか。

愛と絆をシリアスに描いた人間ドラマ

『ブレスド』

日本初公開
オーストラリア/2009年/115分　監督:アナ・コッキノス

悩みを抱え、メルボルンのストリートをさまよう7人の子どもたちと、帰りを待つ5人の母親。彼らが織りなす一昼夜の出来事を、子どもと母親それぞれの視点から苦悩と葛藤を描く。子どもたちは、愛する母のもとへ帰ることができるのか。

暴力的な恋人と同棲するシングルマザー、ロンダを好演したフランシス・オコナーは、オーストラリア映画協会主演女優賞を受賞。『ロード・オブ・ザ・リング』三部作でのエオウィン姫役で一躍有名になったミランダ・オットーら、ベテラン俳優陣の演技が光る。カンヌ国際映画祭監督週間で旋風を巻き起こした『ヘッド・オン!』(1998)のアナ・コッキノス監督による最新作!

※サンセバスチャン国際映画祭2009審査員賞(脚本賞)

痛快ラブコメディー

『ミスにんじん』

愛知初公開　監督来場予定
韓国/2008年/101分　監督:イ・ギョンミ

早とちりでささいなことで赤面し、それを気にするあまりいつも墓穴を掘ってしまうヤン・ミスク(コン・ヒョジン)。思い込みも激しく、自分が上手くいかないのは可愛いだけが売りでみんなに愛されているイ・ユリ先生(ファン・ウスレ)のせいだと逆恨みをし、校内の問題児であり片思いの相手ソ先生の娘でもある、ジョンヒ(ソウ)と何やら企み始めるが。

主演のコン・ヒョジンと準主演のソウの素晴らしい演技は必見。

“復讐三部作”でおなじみのあのパク・チャヌク監督が脚本・プロデュースを担当している。

コン・ヒョジンは、本作品で大韓民国映画大賞主演女優賞を受賞。

‖ 今年は韓国に注目! ‖

今年から本格的にスタートするソウル国際女性映画祭との相互交流プロジェクト。

ソウル国際女性映画祭からディレクターのイ・ヘギョンさんや2010短編部門でグランプリを受賞したキム・ジニョン監督を始め、これからの活躍が期待される若手監督たちをお迎えして交流を深めます。

交流企画①

シンポジウム 無料 定員50名

◆ 9月8日(水) 17:00〜18:00

◆ 場所:ウィルあいち3階 会議室5

「ソウル国際女性映画祭にみるアジアの新進女性監督(仮題)」

昨年のシンポジウムの様子

パネラー

イ・ヘギョン ソウル国際女性映画祭ディレクター

キム・ジニョン 「Believe in Me」(2010短編部門グランプリ受賞作品)監督 ほか

コーディネーター

木全純治 あいち国際女性映画祭ディレクター

交流企画②

短編映画制作・発表

◆ 9月12日(日)10:30〜

◆ 場所:ウィルあいち1階 視聴覚ルーム(無料・定員50名)

交流プロジェクトで招待した新進女性監督たちを中心として、シナリオ作成、撮影、編集した短編作品を発表します。名古屋での撮影です。皆さんがよく知っている場所が出てくるかもしれません。

◆ ワークショップ参加者募集(無料・定員20名)

韓国女性監督と短編映画を作りましょう。詳細は映画祭ホームページをご覧ください。

キム・ジニョン監督

チェ・ヒョンヨン監督

ウィルあいち会場の他、小牧市、田原市、北名古屋市、弥富市でも上映します。

詳細は映画祭ホームページ **http://www.aiwff.com**

■ 問い合わせ先
あいち国際女性映画祭事務局 電話052−962−2520

《上映スケジュール》

	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00
9/8(水)			10:00 レオニー★				14:30 ミスにんじん★					19:00 ザクロとミルラ	
			10:00 情炎★		13:00 ハーブ&ドロシー			15:30 あなたのためならどこまでも★				19:00 韓国短編①★	
9/9(木)			10:00 坡州(パジュ)★			14:00 あぜみちジャンピンッ!★						19:00 愛その他の悪霊について	
			10:00 母の道、娘の選択★			14:00 プリンセス マヤ★					18:30 日本短編★		
9/10(金)			10:00 プリンセス マヤ★			14:00 嗚呼 満蒙開拓団						19:00 フローズン・リバー	
			10:00 祝の島★			14:00 月あかりの下で★						19:00 韓国短編②★	
9/11(土)			10:00 ヴィヨンの妻		13:30 隠し砦の三悪人★					18:00 授賞式	18:30 ハート・ロッカー		
			10:00 映画の肖像 黒澤明 大林宣彦 映画的対話				14:30 ブレスド				18:30 大誘拐		
9/12(日)			10:00 ディア・ドクター			14:00 ブレスド							
			10:00 坡州(パジュ)★			14:00 ミスにんじん★							

…ウィルホール …大会議室 ★印は上映前または後にゲストトークを行います。 ※開場は上映の30分前からです。

参画トピックス

豊明市

男女共同参画イラスト・漫画を募集しています!

男女共同参画に関するイラストは自由に使えるものがそれほど多くはありません。豊明市では男女共同参画をPRするとともに、より気軽に、より身近に男女共同参画を感じてもらうために「男女共同参画イラスト・漫画」を平成19年より毎年募集しています。発表済み・未発表、プロ・アマを問いません。おひとりで何作品でも応募できますが、自作のものに限ります。

応募していただいたイラストはホームページに掲載します。掲載されたイラストは個人・企業・法人・団体が非商用・商用を問わず、印刷物・サイトの画像などにご利用いただけます。

親しみのあるイラストを目にすることで自然と男女共同参画を理解し意識することができます。ぜひぜひご応募、ご活用ください!

問い合わせ先 豊明市市民生活部市民協働課 電話 0562−92−8306 Eメール kyodo@city.toyoake.lg.jp
イラスト掲載ホームページ http://www.city.toyoake.lg.jp/siminkyodo/danjo/illust/illust1.htm

大口町

デートDVの予防に!冊子とDVDを活用

若者が携帯電話を持つことが多くなった現在、より発生しやすくなったデートDV。まだ一般的には知られていないようです。

そこで、デートDVの被害を予防するため、おおぐち男女共同参画懇話会と大口町で高校生対象にデートDV講座を開催し、アンケートを取って現状を把握しました。そのアンケート結果を活かし、啓発教材「ハンドブック」「リーフレット」「DVD」を作成しました。

ハンドブックは、現役の高校生が漫画を描き、現実に起きている問題を高校生の視点でなじみやすく描いています。

講座参加者からは「DVは叩いたりする暴力だけだと思っていました。傷つく言葉やメールチェックなどもDVだということを初めて知りました。」といった声も届いています。

おおぐち男女共同参画懇話会は、今後も教材を活用して、デートDVとは何かを啓発していきます。

教材は大口町地域振興課で配布していますので、ご希望の方はお問い合わせください。

デートDV講座の様子

問い合わせ先 大口町地域協働部地域振興課
電話 0587−95−1111 Eメール chiiki@town.oguchi.lg.jp

団体紹介

このコーナーでは、男女共同参画社会の実現に向けた活動をしている県内の団体をご紹介します。
第2回は、ウィルあいちを拠点に活動する「ウィルあいち交流ネット」にお話を伺いました。

ウィルあいち交流ネット

ウィルあいち交流ネット通信

自主活動グループの横のつながりを生かして

「ウィルあいち交流ネット」は、(財)あいち男女共同参画財団のセミナー等の受講者による、27の自主活動グループで構成するネットワークです。

活動が続く秘訣は楽しさ ～ウィルあいちを拠点に～

財団と連携して、年に数回、講演会やセミナーを開催している交流ネット。昨年は、講演会「反貧困から築く格差のない社会、女性も男性も」を、NPO法人自立生活サポートセンター・もやい事務局長の湯浅誠氏を講師に開催しました。大きな社会問題「貧困」に取り組む湯浅さんの真摯で率直な語り口に、248名の参加者から大きな反響がありました。今年も11月に講演会を開催する予定です。また、会員同士の勉強会「スキルアップ講座」も行っています。

「知識を教えあったり、他のグループの活動の様子を参考にしたりできるのが、交流ネットの大きなメリットです」と代表の吉田和江さん。「地元で活動していると、問題意識がつい日常に埋もれてしまいがちです。交流ネットに参加することで刺激を受け、自分の気持ちが高められます。気楽に集まって、お互い励まされ、また行こうという楽しさがあることが長く続いている秘訣だと思います。今後もウィルあいちを拠点に、男女共同参画の実現を目指して、楽しみながらネットワークを広げていきたい」と話してくれました。

活動報告などは『ウィルあいち交流ネット通信』にも掲載しています。
ホームページ:http://www.will.pref.aichi.jp/izumi/kouryu.html

相談コーナーから

★相談コーナー専用ダイヤル　受付時間　火～金曜日　9:00～12:00、12:45～16:30
電話 052−962−2614　土・日曜日　9:00～12:00、12:45～16:00

★DV専門電話相談専用ダイヤル　受付時間　原則として第1週のみ水曜日、
電話 052−962−2568　その他の週は土曜日　14:00～15:30

ウィルあいち相談コーナーでは、女性が危機・岐路に立ったときこそ成長のときと考え、相談者の持つ力を引き出し、解決のための一歩をふみだすお手伝いをしています。今回のシリーズでは、「目には見えにくい心の状態が、体の症状として現われている事例」をもとに、密接に繋がった心と体の関係を考えて行きたいと思います。　※事例はプライバシー保護のため、実際の相談とは設定や状況を変えてあります。

A子さんの事例

～母と娘の関係～

専業主婦のA子さんは49歳、夫と17歳の娘の三人暮らしです。結婚8年目にやっと授かった娘は少し身体が弱く、よく幼稚園を欠席しましたが、A子さんの心配をよそに、大きな問題はなく幼少期を終えました。しかし、娘が中学生になってからもA子さんの心配は続き、送り迎えや食事の管理にのめり込んでいきました。A子さんは時折、ひどい頭痛と手足のしびれに襲われるようになっていました。

娘は高校に入ったころから、これまで欠かさなかった朝食を拒否するようになりました。A子さんは何度も理由をたずねましたが、娘はA子さんを無視します。A子さんは過去の自分を見ているような気持ちになり、パニックになってしまいました。三姉妹の真ん中のA子さんは、いつもいい子だったため、姉妹に比べて母親に気持ちをかけてもらっていないと感じていました。しだいにA子さんは、母親に期待をせず、見ないようにすることで、自分を守るようになりました。そんなA子さんが今度は娘との関わりが難しくなり、面接相談に来たのです。

A子さんの人生を考える

A子さんは、自分のことは二の次にして子育てを頑張ってきました。相談員はその頑張りを十分認め、娘のことが心配でたまらない気持ちに耳を傾けます。娘を過度に心配するようになった背景として、幼稚園を欠席しがちだったことや身体が弱かったことを、母親である自分の至らなさと受け取っていたことが語られました。また、夫の仕事が忙しく、家事と育児はA子さんが一手に引き受けてきたことも大きなストレスになっていたようです。さらに「母のようにはなりたくない」という潜在的な思いが強くあったことも明らかになりました。

相談員に話していく中で、A子さんは、自分が頑張ってきたことを少しずつ肯定できるようになり、過干渉にならざるを得なかった自分にも気づいていきました。そして、高校生に成長した娘の存在を尊重し見守る姿勢を続け、今まで二の次にしていた自分の楽しみを探してみると語りました。すると、頭痛やしびれも少なくなっていきました。A子さんは今、娘と新たな関係を築いているところです。

このようにウィルあいち相談コーナーでは、相談者の気持ちにじっくり耳を傾け、問題解決の糸口を一緒に考えます。

情報ライブラリーから

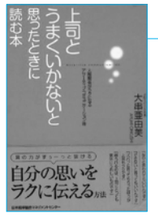
図書の紹介

～自分の気持ちを上手に伝えるには～

自分の気持ちを伝える。簡単なようで、なかなか難しいことですね。自分の思いを率直に伝えながら、相手の気持ちにも気を配り、互いを尊重するコミュニケーションを「アサーティブ・コミュニケーション」といいます。情報ライブラリーで所蔵している図書の中から、アサーティブ・コミュニケーションに関するものをご紹介します。

『伝え上手で、キャリアアップ！　働く女性のハッピー法則』 藤井佐和子著(リヨン社)

職場でもプライベートでも、自分の気持ちや考えがうまく伝わらなかった経験は誰にでもあるはず。もっとうまく自己主張できれば、自分も周りもハッピーになる。聞き上手だけど伝え下手な女性に足りない「発信力」を身につけ、伝え美人になって楽しく働こう。キャリアカウンセラーである著者が、その経験から、「伝える力」を武器にして、職場で女性が上手に主張する方法を教える。



『上司とうまくいかないと思ったときに読む本』 大串亜由美著(日本能率協会マネジメントセンター)

組織で働くときに誰もが悩むのが、上司とのコミュニケーション。自分の思いを伝えるアサーティブ・コミュニケーションで、どんな上司にも対応できる!上司に言いにくいことを上手に伝えるスキル、動いてもらうコツなど、もっとラクに上司とつきあえて気持ちよく仕事ができるようになるワザが満載。

『図解自分の気持ちをきちんと〈伝える〉技術』 平木典子著(PHP研究所)

頼まれごとを「断ってもいいだろうか」と思うことや、「ここで自分の思ったことを言うと、相手の気分を害するだろうか」と躊躇することはないですか?職場で、仲間同士で、地域の生活で…人間関係に少しでも悩んだ時に読みたい一冊。自信をもって自分を表現するコツを、図解で分かりやすく説明してくれる。読後はきっと心が軽くなるはず。

「情報ライブラリーフェスタ」を開催しました

ウィルあいち情報ライブラリーでは、6月23日(水)から29日(火)までの国の男女共同参画週間にあわせて、第1回「情報ライブラリーフェスタ」を開催しました。

今回は、「仕事と生活の調和を考える−ワーク・ライフ・バランス−」をテーマに、啓発パネル10枚と、図書・ビデオ等の関連資料の展示を行いました。

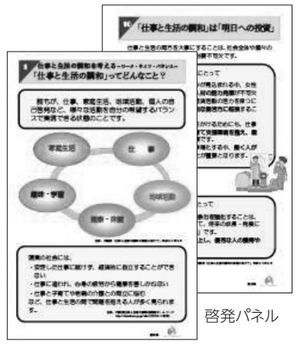
「仕事と生活の調和」とは、誰もが、仕事、家庭生活、地域活動、個人の自己啓発など、さまざまな活動を自分の希望するバランスで実現できる状態のことです。

仕事と、家事・育児・介護などの生活との両立に悩む人はまだ多く、仕事と生活の調和が進んでいない現状と、進めるメリット、改正育児・介護休業法のポイントなどをパネルで紹介しました。

啓発パネルは、県内の男女共同参画センターや市町村で開催するイベントなどに貸出しを行っています。

ほかにもこんな啓発パネルがあります。
○男女共同参画について知ろう　○女性に対する暴力をなくすために　○乳がん
○女性のチカラ、チャレンジで発揮!　○男女共同参画まんが　ウィルおじさん

パネル展示風景



啓発パネル

問い合わせ先　ウィルあいち情報ライブラリー　電話052−962−2510